

## **Coralogy 投稿規定**

Coralogy は、過去・現在・未来のサンゴ礁に関わる気候・生態系・生態・社会に関する新たに創出されたデータとそれを記載した多言語の報文(および総説)を扱う。Coralogy では、サンゴ礁に関わる新規に観測・分析・計測されたデータの記載および集約を重視する。

本誌は以下の 4 種に大別される。

- (A) Double Open Peer Review (DOPR) paper: 未公開論文を受け付ける。
- (B) Letter: 編集委員会が査読を行った短報を扱う。
- (C) Data: 公表の有無を問わずサンゴ礁科学に関するデータをアーカイブする。
- (D) Pre-print: 論文投稿前および印刷後の原稿を配信・アーカイブする。

### **1. 投稿原稿の要件**

投稿原稿は Coralogy の Web ページ上からダウンロードできる原稿投稿用テンプレートに従って準備し、e-mail または 郵便に添付して下記の編集委員会宛に送付する。投稿時に、希望する原稿の掲載区分と種類を明記する。

〒891-6151 鹿児島県大島郡喜界町 大字塩道 1508

喜界島サンゴ礁科学研究所

TEL: (0997) 66-0200

E-mail: coralogy@kikaireefs.org

#### **(A) DOPR paper について**

DOPR paper では以下の 2 種を扱う。

##### **A-1 Original article**

最新のデータとそれらに関する議論を有する原著論文を掲載する。

##### **A-2 Review**

最新のデータ・既存のデータや研究を紹介し、それらを含む議論を有したサンゴ礁科学研究を進展させるレビューを掲載する。

DOPR paper では“Double open peer review (DOPR)”により査読を行う。

投稿論文の著者が投稿分野の第一人者から 2 名以上の査読者を選定し、査読結果を準備する。

投稿論文を Coralogy 編集委員会が受理後、編集委員会が著者に査読の開始を伝える。著者は査読結果、査読結果に対する回答、修正原稿を編集委員会に送付する。編集委員会において修正原稿および査読過程を下に掲載可否の判断が決定

され、その結果を著者に通知する。論文の受理決定後には受理通知書を発行し、編集委員が著者への送付をもって論文受理とする。本誌には、修正原稿および査読者名と査読内容が掲載される。査読者の判断により査読者名を掲載しないこともできる。

## **(B) Letter**

Letter では以下の論文を扱い、編集委員会が掲載の可否を判断し、必要に応じて修正を依頼する。論文の受理決定後には受理通知書を発行し、編集委員が著者への送付をもって論文受理とする。

### **B-1 Discussion and communications**

既存のデータをもとに、将来にサンゴ礁科学研究を進展させ得る議論(総説)や研究計画を簡潔に説明する。

### **B-2 Method and technology**

サンゴ礁研究に関連する観測および分析などに用いる新たな手法を紹介し簡潔に説明する。

## **(C) Data**

Data では以下の論文およびデータを扱い、編集委員会が査読を行い、必要に応じて修正を依頼する。論文の受理決定後には受理通知書を発行し、編集委員が著者への送付をもって論文受理とする。

### **C-1 Scientific data**

サンゴ礁研究に関連する観測および分析記録を提出する。

### **C-2 Arts**

サンゴ礁研究に関連する科学的に興味深い絵画・写真・図・地図・音声や動画を紹介し、簡潔に説明する。また、サンゴ礁地域で発生した特筆すべき現象や興味深いサンゴ礁地形とその場所などを紹介し、説明する。

(C)Data で紹介した未発表のデータについては、データを創出した際の試料や採取地、手法などを短報にまとめる。発表済みデータについてはデータの初出の論文とともに提出する。データセットはタブ区切りのテキストファイルで準備する。有効数字は、報告するデータセットの精度・確度に準拠して報告する。原稿とデータを編集委員会に送付時に、試料の採取地の情報(GPS など)を明記する。未発表のデータを新たに公開する際には、試料、採取地、手法などを簡単に説明する。公表済みのデータについては初出となる論文を添付もしくは明示する。紹介したデータは Web ページ上に公開し会員・非会員を問わず利用できる。

扱うデータは公開済み・非公開を問わない。

#### (D)Pre-print について

Pre-print サーバーは、サンゴ礁科学の研究に関わる未発表論文(Pre-print 論文)のオンラインアーカイブおよび配信サービスである。投稿予定論文が、Pre-print サーバー上で事前に配信された原稿の投稿を禁じている雑誌への投稿を予定していないことを十分に確認したうえで、原稿を Pre-print サーバーへ投稿すること ([SHERPA/RoMEO](#) 参照)。Pre-print サーバー にアップロードする論文の構成や字数は問わない。著者が未発表原稿を Pre-print サーバー にアップロードした際に生じる不利益に関して Coralogy は責任を負わない。

Pre-print 上で公開前に、Coralogy の編集委員会によって原稿の内容が Pre-print サーバーでの配信に適切であるか確認する。Pre-print 論文を受理後、査読や編集委員会からの修正を経ず、喜界島サンゴ礁科学研究所 Web ページ上の pre-print サーバー内に保管され、印刷を行わない。著者は修正原稿(未発表に限る)を Pre-print サーバーに再投稿することができる。一度、Pre-print サーバー上に配信した論文は削除することができない。

会員・非会員を問わず、Pre-print サーバー内の印刷前の論文には自由にアクセス可能であり、公開された論文に関するコメントおよび議論を Pre-print サーバーを通して受け付ける。また、コメント・議論の結果を反映させた修正原稿を本誌の(A)DOPR paper など他雑誌に投稿できる。プレプリントサーバー上に保管された Pre-print 論文が本誌を含めた学術誌などで発行・印刷された場合、Pre-print サーバー上に印刷された論文のリンクを掲載する。

## 2. 原稿作成について

原稿の長さや掲載できる図表の数は以下の表の通りである。

カテゴリー	サブカテゴリー	原稿の長さ (ページ数)	総図表数	査読方法
<b>DOPR paper</b>	Original article	20	10	DOPR
	Review	20	10	
<b>Letter</b>	Discussions and communications	3	4	Editorial check
	Methods and technology	3	4	
<b>Data</b>	Scientific data	2	2	Editorial check
	Arts	2	2	
<b>Pre-print</b>	-	-	-	-

DOPR paper・Letter・Dataの短報では、本誌が準備したwordフォーマットに従って原稿を作成する。構成に関する規定は以下の通りである。

**タイトルページ：**タイトルページには、表題、著者名、所属とその住所、連絡先 (Corresponding author の e-mail address)、要旨図および要旨を英語のみ、英語と他言語、日本語のみのいずれかの方法で記す。

**表題：**2行以内で論文内容を端的に述べる。

**要旨：**10行以内で研究の根拠および最も重要な結果と結論を簡潔に述べる。

**要旨図：**投稿論文の要旨を表す図および図説(10\*16cm 以内)を1枚準備する。図表内および図説で扱う言語は英語とする。

**キーワード：**4-6語のキーワードを要旨の後に記す。英語で準備する。

**本文：**字数制限は各論文種別に従う。

**謝辞：**できるだけ簡潔にのべる。助成金などを提供した団体名は正式名を記す。

**引用文献：**引用文献のリストは本文中で引用した文献(すでに公表済みまたは受理されたもの)のみを含める。私信は本文中のみに示す。

引用文献数について、DOPR paperは無制限とし、LetterおよびDataは30報以内とする。

本文中での引用形式:

(Dunbar and Wellington 1981; Klein et al.1992; Cole et al. 1993)

[Dunbar and Wellington 1981], [Klein et al., 1992], [Cole et al., 1993]

引用文献の記述方法:

Dunbar, R. B., and G. M. Wellington (1981), Stable isotopes in a branching coral monitor seasonal temperature variation, *Nature*, 293(5832), 453–455, doi:10.1038/293453a0.

Klein, R., J. Pätzold, G. Wefer, and Y. Loya (1992), Seasonal variations in the stable isotopic composition and the skeletal density pattern of the coral *Porites lobata* (Gulf of Eilat, Red Sea), *Marine Biology*, 112(2), 259–263, doi:10.1007/BF00702470.

**図表：**全ての図(写真・グラフ・描画)と表は、本文中で引用し、その順番に従って番号を付す。各論文種で定められた総ページ数以内収めることができれば、図表数に制限はない。図は190×230mm以内のサイズで用意する。図は300dpi以上の解像度で作成し、jpeg, tiffもしくはpdfで提出する。図中では英語を使用する。図中の文字はサンセリフ体(Helvetica)を用い、論文内の全ての図で字体を統一する。試料の大きさはスケールにより示す。図の説明は、英語のみもしくは英語+他言語で準備する。

表はWordの表作成ツールで作成する。表は英語で作成し、セリフ体(Times New Roman)を用いる。表の説明は英語のみもしくは英語+他言語で準備する。

### **3. 著作権について**

(A)DOPR paper, (B) Reports, (C) Data

掲載された論文の著作権は喜界島サンゴ礁科学研究所および著者に帰属する。喜界島サンゴ礁科学研究所および著者の許諾を得ずに原稿を複製することを禁ずる。著者は、本誌に掲載された原稿が他のどの言語にも複製されていないことを保証するものとする。公表された図や本文・地図を本誌に投稿する原稿に使用

する場合は、著作権保持者の許諾を得て、出典を明記すること。

#### (D)Pre-print

Pre-Print サーバーにアップロードされた論文の著作権は著者に帰属する。Pre-Print サーバー上の原稿を複製することを禁ずる。著者は、本サーバーにアップロードされた原稿が他のどの言語にも複製されていないことを保証するものとする。公開された図や本文を本サーバーにアップロードする原稿に使用する場合は、著作権保持者の許諾を得て、出典を明記すること。著者が原稿を Pre-print サーバーにアップロードしたことによって生じる損益に関して、Coralogy では一切の責任を負わない。

## 4. 査読規定

査読者は、Coralogy への投稿論文に対して、査読結果を通知する。査読者は著者が投稿論文の研究分野の第一人者のなかから 2 人以上選定し、査読を依頼する。使用言語は英語もしくは日本語とする。査読期間は定めず、著者が査読の完了を判断し、修正原稿と査読結果を Coralogy 編集委員会に送付することで査読の完了とする。Coralogy 編集委員会は修正原稿および査読結果をもとに掲載の可否の判断や再査読の要請を行う。

### 査読時の匿名性

Coralogy では、原則として論文掲載時に査読者の名前と査読過程を投稿論文とともに掲載する。また、査読者の希望により、査読者の名前を明かすことなく投稿論文をオンライン上に掲載することもできる。